

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本ヒューマンセレモニー専門学校
設置者名	学校法人 鶴嶺学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
財産目録	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
事業報告書	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能
監事による監査報告（書）	写しを学校事務所に備え付け、だれでも閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

(1)

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		フューネラル学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
2 年	昼	1800 単位時間／単位	単位時間 1080/単位	単位時間 420/単位	単位時間 510/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位		
			2010 単位時間／単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数
50 人		19 人	0 人		4 人		19 人		23 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- ・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の3カ月前までに授業計画を完成させる。
- ・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。

成績評価の基準・方法

（概要）

- ・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。
- ・総合点を100点満点とし、A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下で評価する。
D評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。（再試験対象）
- ・各科目の総授業時間に対して、30%以上欠席した者の履修認定はしない。（補講の対象）

卒業・進級の認定基準
(概要) ・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。 ・資格取得ポイント 20 ポイント以上の取得。 ・教職員による卒業認定会議において認定する。
学修支援等
(概要) ・クラス担任制 ・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。 ・本人及び保護者面談の実施 ・家庭訪問の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 葬儀社・葬祭関連事業者			
(就職指導内容) 履歴書の書き方・面接練習・個別相談（面談）			
(主な学修成果（資格・検定等）) 葬祭ディレクター（2級）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	1 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、体調不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・本人との日常的な面談 ・複数教職員による声かけ、面談 ・保護者との情報共有、面談		

(2)

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
商業実務		商業実務専門課程		エンバ－シング学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	1920 単位時間／単位		単位時間 1080/単位	単位時間 420/単位	単位時間 510/単位	単位時間 0/単位	単位時間 0/単位	
				2010 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
50 人		34 人	0 人	4 人		19 人		23 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

- ・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の3カ月前までに授業計画を完成させる。
- ・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。

成績評価の基準・方法

（概要）

- ・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。
- ・総合点を100点満点とし、A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59点以下で評価する。
- ・D評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。（再試験対象）
- ・各科目の総授業時間に対して、30%以上欠席した者の履修認定はしない。（補講の対象）

卒業・進級の認定基準

（概要）

- ・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。
- ・資格取得ポイント20ポイント以上の取得。
- ・教職員による卒業認定会議において認定する。

学修支援等

（概要）

- ・クラス担任制
- ・電話にて、本人及び保護者への日常的な連絡。
- ・本人及び保護者面談の実施
- ・家庭訪問の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16 人 (100%)	0 人 (0%)	15 人 (93.8%)	1 人 (6.3%)
（主な就職、業界等） 葬儀社・葬祭関連事業者			
（就職指導内容） 履歴書の書き方・面接練習・個別相談（面談）			
（主な学修成果（資格・検定等）） エンバーマー 葬祭ディレクター（2級）			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34 人	2 人	5.9%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） ・本人との日常的な面談 ・複数教職員による声かけ、面談 ・保護者との情報共有、面談		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
フューナール学科	150,000 円	750,000 円	200,000 円	入学検定料 施設費
エンバースhing 学科	150,000 円	750,000 円	300,000 円	入学検定料、施設費 校外実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自校ホームページに掲載 https://humanceremony.ac.jp/information-disclosure/		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
産業界等のニーズに即した人材育成教育を行うため、企業等の学校関係者より、最新の情報、現場からの有用な意見を得ることが必要である。そのために学校自己評価委員会を立ち上げた。また、その意見をもとに学校関係者評価委員会に反映させている。 評価項目について ①教育理念・目標、②学校運営、③教育活動、④学習成果、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦学生の受け入れ募集、⑧財務、⑨法令の遵守、⑩社会貢献・地域貢献の 10 項目に分類し評価を行っている。 学校評価の活用方法 実施時期は学園の決算の終わった毎年 6 月の時期に年度の各種資料を基に実施する。学校評価から出た改善提案、各種意見は、学校長の責任の元、各学校の「教務会」、学園全体の幹部会議である「運営会議」、事務担当者の集まる「事務担当者会議」において周知され、運営に活用されている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
道塾 慶陽館	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	教育関係者
有限会社関口造花店	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	企業関係者 卒業生
NPO 法人 トータルライフサポートクラブ	令和 6 年 4 月 1 日～ 令和 8 年 3 月 31 日	NPO 法人関係者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 自校ホームページに掲載 https://humanceremony.ac.jp/information-disclosure/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://humanceremony.ac.jp
--